

南田中図書館から一番近い山下農園に行ってきました



山下農園は、南田中図書館から一番近いブルーベリー観光農園です。図書館から歩いて約 20 分。自転車なら 10 分弱の距離にあります。

図書館を出て、西に向かって歩き、山下橋を經由して石神井公園へ。ボート池のほとりをおもしろい子ガモたちが泳ぐ姿を見ながら三宝寺池に向かって歩きます。ボート池と三宝寺池の間の道路（井草通り）に出たら、北に向かって歩きます。5 分もしないうちに、左側に石神井中学校が見えてきます。右側には、練馬区ブルーベリー観光農園の目印である紫色の看板があります。看板の裏手にある青い囲いが山下農園のブルーベリー農園です。



取材した日はあいにくの雨。雨に濡れながらも、親切に話をしてくれたのは、園主の山下さん。たくさん実ったブルーベリーの農園を見せていただきました。

山下農園では、4種類のラビットアイ系のブルーベリーを栽培しています。ラビットアイ（ウサギの目）の名は、実が熟す前にウサギの目のように赤くなることに由来しています。農園には、すでに熟した濃い紫色の実がたくさんありました。食べごろのブルーベリーの見分け方や摘み取り方は、実際に摘み取りをする前に山下さんから説明をしていただけるそうです。100グラム（200円）の量も見せて下さいます。楽しいのでついたらたくさん摘み取りすぎた…ということがないように目安にするといいですね。



山下農園の開園日は週2日、**水曜日（9時～11時）**と、**日曜日（9時～11時・15時～17時）**です。日曜日は、お子さん連れのご家族が多く、水曜日は、ブルーベリー好きな大人の来園者が多いそうです。自分の好きな木を目当てに来る常連さんもあるそうですよ！ こじんまりした農園なので、団体での来園は難しそう…。 **行きたい！！**と思ったら、まずは**電話で予約**をしてください。

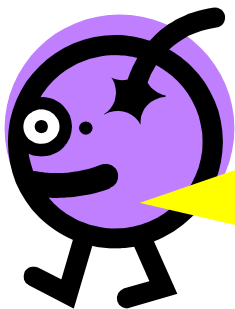
(3997-1528 受付9時～17時)



日にちが決まったら、**暑さ対策**をしっかりと出かけてみましょう。日傘は農園内では差すことができません。木に当たるとダメージを与えてしまいますので帽子をかぶって行きましょう。かかとの高い靴はビニールシートを傷つけてしまうので、運動靴で出かけてみましょう。虫よけの準備もしておくといいかもしれません。農園では、山下さんにいろいろ教えてもらいながら、美味しいブルーベリーを摘んで、楽しい時間を過ごしてください。

周辺には、ふるさと文化館、石神井公園、石神井プール、石神井図書館などたくさんの施設があります。寄り道も楽しめそうです。

2011年7月19日



料金は全園統一

摘み取り方式 100g200円

パック詰め販売がある場合、100gあたり300円を基準に設定されています。